

定例記者発表次第

日時／令和３年６月１８日（金）

１０時３０分～

会場／矢板市役所 第一委員会室

１ 開会

２ 記者発表案件

（１）矢板市サテライトオフィス等設置補助事業の公募について（総合政策課）

（２）地元産材活用支援事業（地産地消給食）の実施について（農林課、教育総務課）

３ 資料提供

（１）第４０回「やいたの四季」観光写真コンテストの実施について（秘書広報課）

（２）矢板市職員採用試験の実施について（総務課）

（３）道の駅やいたへ一般社団法人日本道路建設業協会様からの小型発動発電機の寄贈式の開催について（農林課）

（４）令和３年度そばオーナーの募集について（農林課）

（５）第２３回ともなり文芸祭り誌上大会の作品募集について（生涯学習課）

４ 質疑応答

５ その他

６ 閉会



記者発表予定 ７月１６日（金）１０時３０分～ 第一委員会室

記者発表資料

令和3年6月18日（金）発表・提供

件 名	矢板市サテライトオフィス等設置補助事業の公募について		
(説明文)			
コロナ禍を契機とした、企業の地方移転の促進や、テレワーク等による新たな働き方を通じた移住や滞在を図り、本市における地方創生を実現するため、内閣府による「地方創生テレワーク交付金」を活用した民間事業者によるサテライトオフィス等の開設を支援する補助事業について、公募を行います。			
1 事業の概要			
矢板市は、国の地方創生テレワーク交付金を活用して、民間企業によるサテライトオフィス等の整備費用に対し、その一部を補助します。官民連携のもと共創を促進し、企業が企業を呼ぶ好循環の構築に取り組むことを通じ、本市における「地方創生テレワーク」の実現を図ります。			
地方創生テレワーク交付金の申請にあたっては、高い目標値や計画の具体性が評価され、交付金の補助率が高い「高水準タイプ」の区分にて採択されました。高水準タイプは、第1次採択団体となった全国138団体のうち、51団体が対象となっており、県内では矢板市が唯一採択されています。			
2 公募要領等：市 HP において公開			
3 補助率・交付額：設置にかかる経費の1／2、上限額3,000万円 ※市補助額の3／4については国費			
4 採択件数：1件			
5 公募期間：令和3年6月18日～7月9日 (交付決定：7月中旬以降予定)			
※提供資料の有無： ☒ 有 (別添のとおり)・無			
担 当 課 ・ 担 当 名		総合政策課 政策企画担当	
担 当 者 名		弦巻 賢介	
電 話 番 号	0287-43-1112	内線電話番号	221

栃木県矢板市 地方創生テレワーク交付金 実施計画（事業計画・取組計画）概要について

—“Work Life Shift to YAITA” 地域内外の人材が交流し、共創するPFの実現を図る—

政策目的

地方への新たな人の流れの創出

交流・相談機能を重視し、交流→関係人口→移住→担い手へのステップをワンストップで実現
共創を促進し、新たな産業やビジネスが創出され、企業が企業を呼ぶデイジーチェーンを構築

KPI (2024年度末時点)

- ①利用企業数：15社（②うち県外4社）
③利用者数：5,000名（④うち県外50%） ⑤移住者：180名

事業推進主体
Work Life Shift
推進コンソーシアムによる
PDCA管理

2024年度の
KPI達成に向けた
取組の深化

ターゲット： ①需要が増加し、コスト競争が生まれているウェビナー業界・オンライン配信事業者の地方移転
②市内に人材が揃っているwebエンジニア ③官民連携にてSociety5.0を目指すIT企業

訴求方法：

- これまでに実証してきた「交流・相談」機能：矢板ふるさと支援センターTAKIBIの活用
- 外部人材である地域おこし協力隊から得た人的ネットワークの活用、関係人口創出
- 充実した子育て環境、交通利便性、豊かな環境で健康に暮らせる環境構築とPR
- 大手IT企業と連携し、ビジネスマッチング・市民の能力開発を通じた人財バンクの構築

交付対象事業概要

民間活力による施設整備・運営を支援

(1/2補助、補助上限3,000万円)

市と政策目的を共有し、ターゲットに対し
確実なアプローチが可能な事業者を公募

利活用推進

(PJ推進：200万円 進出支援：200万円)

- ①交流・ビジネスマッチングの促進
②人材育成・就職、創業支援・伴走支援
③移住定住支援の充実（最大300万円!!）

相互連携

相互連携

相互連携

関連事業： 外部人材（協力隊・企業人・官民連携事業）の活用・ふるさと納税の活用
スマートシティ構築・創業、就業支援制度・旧市街地のリノベーションまちづくり

事業の視点・強み

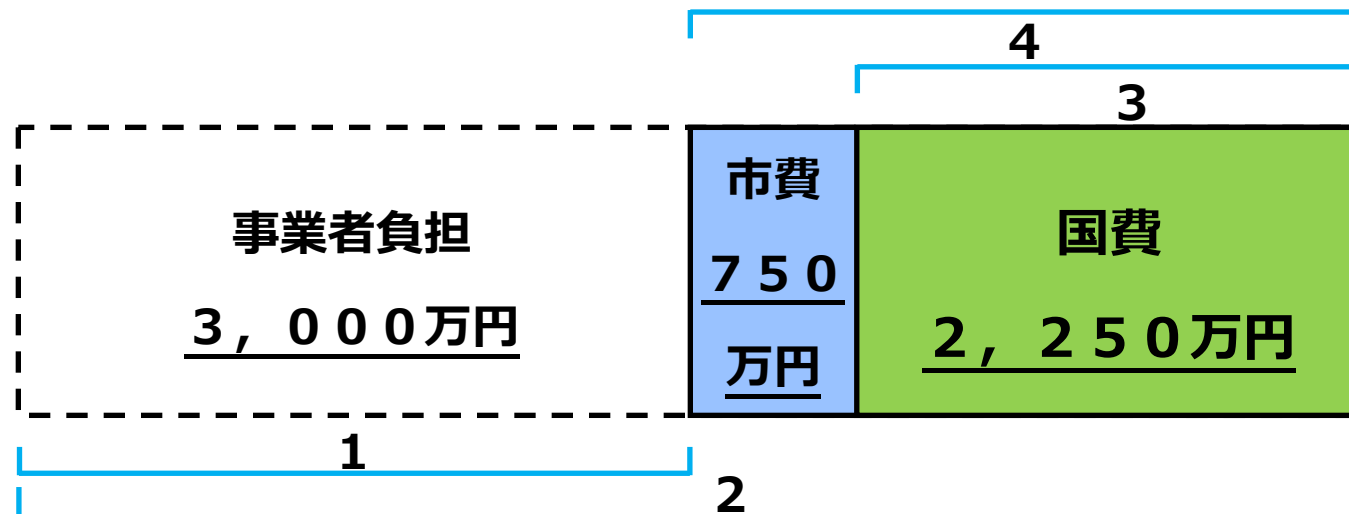
- ① 既に実証されており、一定の効果を挙げたうえでの実施である点
- ② 官民連携・庁内横断にて進める点
- ③ 今後拡大する業界の移転を確実に進める計画としている点
- ④ 地域のIT能力向上と、育成された人材の就業先（出口戦略）を有する点
- ⑤ 地域の産業界と事業を構築し、利用者に提供する点
- ⑥ 施設整備による地域住民や企業の再活性化プランを講じている点

矢板市サテライトオフィス等設置補助金の費用負担の考え方

(例) 総工費6,000万円の民間所有施設を開設支援する場合

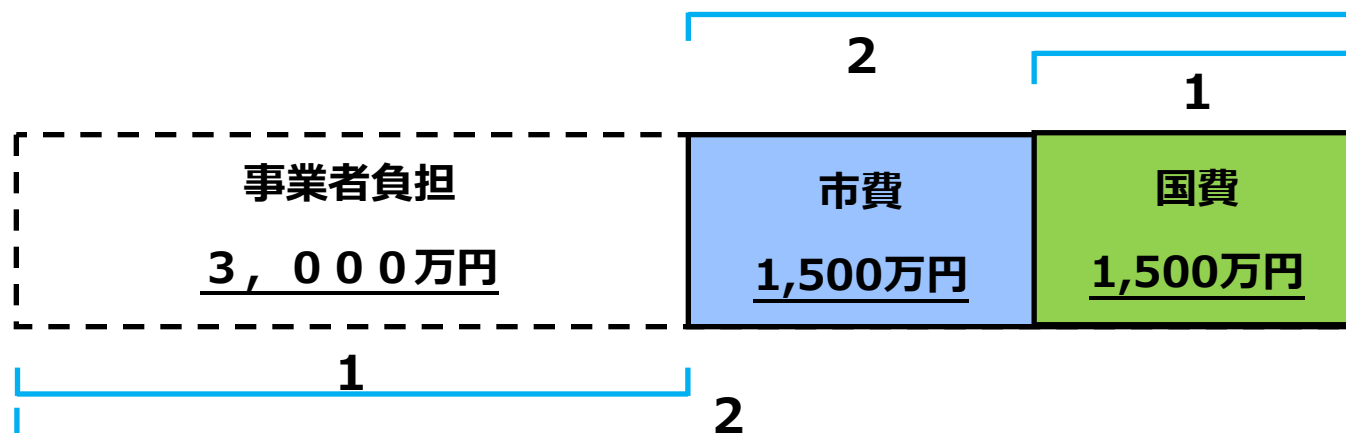
高水準タイプ<矢板市の採択区分>

- 施策の目標値（KPI）に高い目標を設定
- 企業進出、滞在、移住の好循環を創出し得る取組の自立性が高い
- 官民協働、政策間連携等の先駆的要素が含まれると評価
- 有識者による審査



標準タイプ<参考>

- KPIに適切な水準を設定
- 起業進出、滞在、移住の好循環を創出し得る取組自立性を有する
- 事務局による審査



高水準タイプ採択：51団体

北海道	函館市 東川町	室蘭市 美瑛町	北見市 利尻町	登別市 厚真町	滋賀県	彦根市 長浜市
青森県					京都府	京都市
岩手県					大阪府	
宮城県	富谷市	加美町			兵庫県	南あわじ市 新温泉町
秋田県					奈良県	
山形県	小国町				和歌山県	
福島県	楢葉町				鳥取県	鳥取県 鳥取市
茨城県					島根県	出雲市 江津市 雲南市
栃木県	矢板市				岡山県	津山市
群馬県					広島県	安芸高田市
埼玉県	横瀬町	皆野町			山口県	宇部市
千葉県					徳島県	神山町
東京都					香川県	小豆島町
神奈川県					愛媛県	
新潟県	十日町市	燕市	糸魚川市	妙高市	高知県	土佐町
富山県	上市町				福岡県	北九州市
石川県	石川県	加賀市			佐賀県	佐賀市
福井県					長崎県	壱岐市
山梨県					熊本県	八代市 益城町
長野県	長野県	飯田市	辰野町		大分県	
岐阜県	岐阜県	美濃加茂市			宮崎県	日向市
静岡県	焼津市	南伊豆町			鹿児島県	
愛知県					沖縄県	
三重県						

標準タイプ採択：87団体

北海道	釧路市 芽室町	帯広市	岩見沢市	神恵内村	滋賀県	甲賀市	米原市	竜王町
青森県	青森県				京都府	宮津市	京丹後市	
岩手県	野田村	洋野町			大阪府	阪南市		
宮城県	宮城県	仙台市			兵庫県			
秋田県	横手市	鹿角市	由利本荘市	大仙市	奈良県	奈良市	下北山村	東吉野村
山形県	高畠町				和歌山県	和歌山市		
福島県	福島市 石川町	須賀川市	磐梯町	矢吹町	鳥取県			
茨城県	日立市				島根県	島根県	隠岐の島町	
栃木県	那須町				岡山県			
群馬県					広島県	広島県		
埼玉県	小鹿野町				山口県	萩市	岩国市	
千葉県	東庄町				徳島県	吉野川市	美馬市	東みよし町
東京都					香川県	香川県		
神奈川県					愛媛県	愛媛県	新居浜市	
新潟県	新潟県 湯沢町	新潟市	長岡市	小千谷市	高知県	高知県	四万十町	
富山県	富山市	立山町			福岡県	福岡県	田川市	古賀市
石川県	羽咋市				佐賀県			
福井県					長崎県	島原市	長与町	
山梨県	甲府市	上野原市	丹波山村		熊本県	熊本市	高森町	芦北町
長野県	長野市 南箕輪村	松本市 阿智村	東御市	箕輪町	大分県	大分市 豊後高田市	別府市	日田市 竹田市
岐阜県	養老町	安八町			宮崎県	宮崎県	小林市	
静岡県	島田市				鹿児島県	枕崎市	南種子町	伊仙町
愛知県					沖縄県	那覇市		
三重県	名張市							

記者発表資料

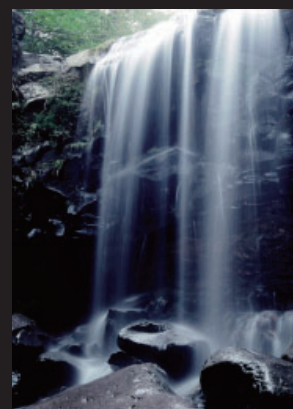
令和3年6月18日（金）発表・提供

件 名	地元産材活用支援事業（地産地消給食）の実施について		
1 目 的			
矢板市内で生産されている農畜産物を市内小中学校の学校給食に使用することで、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた地元産農畜産物の消費拡大を図り生産者の支援を行うとともに、市内小中学生に地元産品の良さを再認識する食育の場を提供します。			
2 対 象			
市立小中学校給食 約2，400食／日 (市内5箇所の学校給食共同調理場)			
3 実施日及び地産地消メニュー			
・6月21日（月）実施校：安沢小、矢板中 ・6月23日（水）実施校：矢板小、川崎小、東小、豊田小、泉小、泉中 ・6月24日（木）実施校：片岡小、乙畑小、片岡中 (※乙畑小にて12：20～13：05 取材対応可能です)			
矢板市内の生産者が丹精込めて育てた「和豚 ^{わとん} もち豚 ^{ぶた} 」をメインメニューの「 ^{ホイコーロー} 回鍋肉」で使用します。「矢板市産 ^{わとん} 和豚 ^{ぶた} もち豚」という食材の指定については、有限会社 八木沢牧場 様および株式会社 山久 様のご協力を頂き実現しました。			
今回は、4月に県内において豚熱（CSF）の発生がみられたことによる生産者支援を兼ねて豚肉を使用する運びとなりました。			
4 その他			
本事業は昨年に引き続き実施しており、6月の学校給食では豚肉のほか、14日（月）～17日（木）にとちぎ和牛、しいたけ、きゅうりを提供しました。引き続き12月まで矢板市産の牛肉、豚肉、野菜などの提供を予定しています。			
学校給食で使用する矢板市産の農畜産物は、道の駅やいた農産物直売所から納入することで、地元産農畜産物の消費拡大及び地産地消の推進を図ります。			
※提供資料の有無：有・ 無			
担 当 課 ・ 担 当 名		農林課整備振興担当、教育総務課学校教育担当	
担 当 者 名		有野 惟央璃、白石 宗矩	
電 話 番 号		農林) 43－6210 教育) 43－6217	内線電話番号 農林) 412 教育) 463

記者発表資料

令和3年6月18日（金）発表・提供

件名	第40回「やいたの四季」観光写真コンテストの実施について														
第40回「やいたの四季」観光写真コンテストを下記のとおり実施します。															
1. テーマ	矢板市内の観光名所、その他矢板を特定できる場所・イベントの風景														
2. 規格	・カラープリント光沢紙4つ切（ワイド4つ切可） ・デジタル写真（1,000万画素以上・デジタル合成不可）※フィルム可														
3. 締め切り	令和4年1月31日（月）まで														
4. 賞	推薦・特選・入選・佳作、参加賞（応募者全員）														
5. 発表・展示	「道の駅やいた」、「山の駅たかはら」「城の湯温泉センター」、などで展示を予定しています。														
6. そのほか	・作品は未発表のものに限る。 ・入賞作品の著作権は主催者に帰属。 ・個人を特定できる写真で応募する場合、事前に本人の承諾を得た上で応募。														
7. 主催	矢板市														
協賛	矢板市写真組合（一社）矢板市観光協会														
8. 応募・問い合わせ	矢板市秘書広報課・矢板市写真組合加盟店														
【参考】応募者の推移															
<table><tr><td>実施回</td><td>応募作品数（点）</td><td>応募者数（人）</td></tr><tr><td>第37回（平成30年度）</td><td>181</td><td>70</td></tr><tr><td>第38回（令和元年度）</td><td>149</td><td>63</td></tr><tr><td>第39回（令和2年度）</td><td>159</td><td>63</td></tr></table>				実施回	応募作品数（点）	応募者数（人）	第37回（平成30年度）	181	70	第38回（令和元年度）	149	63	第39回（令和2年度）	159	63
実施回	応募作品数（点）	応募者数（人）													
第37回（平成30年度）	181	70													
第38回（令和元年度）	149	63													
第39回（令和2年度）	159	63													
※提供資料の有無：有															
担当課・グループ		秘書広報課													
担当者名		主事 関谷 麻美													
電話番号	0287-43-3764	内線電話番号	208												



第40回「やいたの四季」観光写真コンテスト

～あなたが切り取った「矢板の素敵な写真」を募集します～

募集テーマ 矢板市内の観光名所、そのほか矢板を特定できる場所の四季折々の風景又はイベント風景

応募期間 令和4年1月31日(月)まで

表彰式(予定)

◆時期 令和4年3月中旬

◆場所 矢板市役所 ※入賞作品は、道の駅やいた・山の駅たかはら・城の湯温泉センターなどで展示を予定しています。

賞金・賞品

◆推薦(1点以内) 賞金 30,000 円、矢板市写真組合賞

◆特選(2点以内) 賞金 10,000 円、矢板市写真組合賞

◆入選(5点以内) 賞金 3,000 円、矢板市写真組合賞

◆佳作(10点以内) 矢板市観光協会長賞、矢板市写真組合賞

※入賞は原則1人1点。 ※応募者全員に参加賞を差し上げます。

主催/矢板市 協賛/矢板市写真組合 (一社) 矢板市観光協会
お問い合わせ/

矢板市秘書広報課

☎ 0287 (43) 3764 E-mail: yaita@city.yaita.tochigi.jp

矢板市写真組合加盟店

エマタカメラ店 ☎ 0287 (43) 0558 福島写真館 ☎ 0287 (43) 0517 近藤カメラスタジオ ☎ 0287 (43) 0772



過去の入賞作品は
こちらから



第40回「やいたの四季」観光写真コンテスト

応募要項

矢板市内の四季折々の名所、観光行事等を撮影した作品を募集し、観光パンフレットやポスターなどに使用するため、写真コンテストを実施します。

1. テーマ

矢板市内の観光名所、そのほか矢板を特定できる場所の四季折々の風景またはイベント風景

2. 応募規定

(1) 規格

- ・カラープリント光沢紙4つ切（ワイド4つ切可）
- ・デジタル写真（1,000万画素以上・デジタル合成不可）※フィルム可

(2) その他

- ・どなたでも応募できます。
- ・応募作品数に上限はありませんが、未発表のものに限ります。
- ・人を特定できる写真で応募する場合、主催者は肖像権侵害等の責任は一切負いかねますので、事前に被写体本人の承諾を得た上で応募してください。
- ・入賞作品の著作権は、主催者に帰属し、必要に応じて写真サイズを変更しポスターなどとして使用します。なお、入賞作品のデジタルデータまたはフィルムを提出していただくため、審査発表時まで応募作品のデジタルデータまたはフィルムの保存（※元データでの保存）をお願いします。
- ・選外の応募作品を返却希望の方は、応募時に返送先を記入し郵便切手を貼った封筒を同封するか、審査発表後から2カ月以内に市秘書広報課まで取りに来てください。期間経過後の作品は、適切に処分させていただきます。

3. 応募方法

応募票（自作・コピー可）に必要事項を記入し、作品の裏に張り付けて、「矢板市写真組合」または「市秘書広報課」に、郵送または持参してください。

※持参する際は、事前に電話で確認のうえお持ちください。

【応募に必要な記入事項】

画題（ふりがな）、撮影場所、撮影年月日、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号

4. 応募期間

令和4年1月31日（月）まで

5. 審査員

主催者および前田孝憲氏（二科会写真部会員）

6. 審査発表

令和4年2月下旬に応募者全員に通知します。
入賞者には、あわせて表彰式の案内を行います。

【表彰式（予定）】

時期／令和4年3月中旬

場所／矢板市役所

7. 賞

推薦、特選、入選、佳作、参加賞（応募者全員）

【点数・賞品内訳】

- ・推薦：1点以内
賞状、賞金30,000円、矢板市写真組合賞
- ・特選：2点以内
賞状、賞金10,000円、矢板市写真組合賞
- ・入選：5点以内
賞状、賞金3,000円、矢板市写真組合賞
- ・佳作：10点以内
矢板市観光協会長賞、矢板市写真組合賞

※入賞は原則1人1点となります。

※応募者全員に参加賞を差し上げます。

※未成年者が受賞した場合は、商品券を贈呈します。

8. 展示場所

入賞作品は、道の駅やいた・山の駅たかはら・城の湯温泉センターなどで展示を予定しています。

9. 展示期間

令和4年3月中旬から翌年2月上旬まで

10. 協賛

矢板市写真組合 （一社）矢板市観光協会

主 催

矢 板 市

問い合わせ

矢板市秘書広報課

〒329-2192 矢板市本町5-4

☎ 0287-43-3764 ✉ yaita@city.yaita.tochigi.jp

矢板市写真組合加盟店

エマタカメラ店 ☎ 0287-43-0558

福島写真館 ☎ 0287-43-0517

近藤カメラスタジオ ☎ 0287-43-0772

第40回「やいたの四季」観光写真コンテスト応募票

(ふりがな) 画題				
撮影場所				
撮影年月日	西暦	年	月	日
(ふりがな) 氏名				
住所	〒			
電話番号				

記者発表資料

令和3年6月18日（金）発表・提供

件名	矢板市職員採用試験の実施について		
(説明文)			
令和4年4月に採用する職員採用試験の内容については、次のとおりです。			
1 区分及び定員			
一般事務	3人程度	{ A (行政)	2人程度
		{ B (建築・土木)	1人程度
2 内容			
別添のとおり			
3 実施日時			
第1次試験 令和3年9月19日(日)			
4 実施場所			
矢板市生涯学習館、矢板公民館			
5 申込方法			
別添のとおり			
6 申込先			
矢板市総務課人事担当			
7 申込期間			
令和3年7月14(水)～8月5日(木)			
※提供資料の有無： 有 (別添のとおり) ・無			
担当課・担当名		総務課・人事担当	
担当者名		星宮良行	
電話番号	0287-43-1113 (直通)	内線電話番号	223



多彩な才能が必要です。



YAITA CITY

2022年度採用
矢板市職員募集案内

受付期間 令和3年7月14日～8月5日
一次試験 令和3年9月19日(SUN)
募集人数 一般事務A(行政) 2名程度
一般事務B(建築土木) 1名程度

矢板市総務部総務課人事担当
〒329-2192 栃木県矢板市本町5-4
Tel.0287-43-1113
FAX0287-43-2292





商工観光課 阿久澤 大智

令和2年4月1日入庁 一般事務（行政職）

主に観光に関する仕事をしており、自分で作成したパンフレットなどを通して、観光情報の発信をしています。他にも、スポーツ合宿の誘致や自転車を活用した町おこしなど、スポーツツーリズムの推進をしています。

こちらが提供した情報を、雑誌やテレビで紹介してもらうと、とてもやりがいを感じます。また、仕事をしていく中で、今まで知らなかった矢板市の魅力を発見できることも喜びです。そして、市を訪れた観光客に喜んでいただいた時は、こちらもうれしくなります。

これからは、矢板市の魅力をどんどん発掘し、観光客数の増加を目指すべく、より多くの人に矢板市の魅力を広めていける職員を目指したいです。そのために、職員としての基礎知識をもっと固め、協調性を更に高めていきたいです。



国体・スポーツ局 芳澤 杏音

令和3年4月1日入庁 一般事務（行政職）

今は来年開催される「いちご一会とちぎ国体」の準備をしています。また、今年開催される国体のリハサル大会に向けて連日頑張っています。

イベントの企画や運営はとてもやりがいがあり充実しています。また、そのイベントで楽しんでいた方を見たり、感謝してくれる人がいると、更にやる気が湧いてきます。今は入庁したばかりでできることは少ないですが、できることがどんどん増えてきており、充実した日々を過ごしています。

これからは、市民の方々の気持ちに寄り添えるような職員を目指しています。そのために、常に笑顔で明るく振舞えるように取り組んでいます。



農林課 市川 貴大

令和3年4月1日入庁 一般事務（行政職）※就職氷河期枠

担当では、林道や市有林の維持管理、木材の利用拡大、緑化推進など林政全般にわたる仕事をしています。

新たに地域が整備する森林での仕事をする時、地域の方からご協力をいただいたのがうれしかったです。また、林道の修繕をする時、職場や関係機関のアドバイスをいただきながら、仕事を達成できていることにやりがいを感じています。

前職では、広域なエリアでの業務に従事していましたが、市職員となった今は、地域振興に努められる職員を目指しています。市のシンボルである高原山やその山麓の環境保全に関わることで、素晴らしい地域資源を次世代に継承していけるよう尽力していきます。



子ども課 大黒 真琴

令和2年4月1日入庁 保健師

担当では地域の方々が安心して妊娠から出産、そして育児ができるように乳幼児健診等を行い、お子様の成長を見守り、そして子育てに関わるご家族を支援する仕事をしています。

笑顔いっぱいのかわいいお子様と触れあうことができるのはとても楽しく、乳幼児健診などでお子様が元気に大きくなっているのを見ると、感慨深くなります。まだ至らない面はありますが、ご相談に来ていただいたお母様から感謝される時はとても嬉しいです。

「寄り添う」ということは言葉にするのは簡単ですが、実際に実行するのはとても難しいことだと日々感じます。相手の状況や思いを理解し、それに合った言葉や行動の選択ができるような保健師になりたいと思っています。



水道課 笠井 泰明

令和2年4月1日入庁 一般事務（行政職）

安心・安全な水道水を供給するために、水質管理や水道施設の維持管理、漏水対応を行っています。また、新しく水道を利用したい方の水道工事の相談や工事許可・検査の業務も行っています。

住民の敷地内で漏水が発生した際に、すぐにお伺いし対応した後に「ありがとうございます」と声を掛けて頂いたときがうれしかったです。『水道は使えて当たり前』と思われがちですが、私たちが陰で支えることで成り立っていると実感するので、楽しくもあり、やりがいがあります。

今後は少子高齢化がますます加速していき、様々な課題が出てくるのが予想されます。社会環境の変化や市民のニーズに敏感に反応し、主体的に動き、市民の方に信頼される職員になりたいと思います。



税務課 松本 歩美

令和2年4月1日入庁 一般事務（行政職）

主に税金の管理収納に関する仕事をしており、主に口座振替に関わる仕事をしています。また、窓口での各種税証明書の発行もしています。

税金という生活する上で必要不可欠なものが、どのような仕組みになっているのかを身近に感じ、直に知ることができました。また、年に数回、小学校に出向き小学生に税金についての授業を行う租税教室を行っており、仕事を通して、子ども達と触れ合えることに楽しさと新鮮さを感じました。

どんな仕事でも柔軟に対応することのできる職員を目指しています。市役所には多くの部署があり、それぞれ違った役割をもっているため必要な知識も多岐にわたります。全ての部署に行くことは不可能ですが、できるだけ多くの仕事に触れ、経験を積むことで知識を身に付けていきたいです。

矢板市職員採用試験（令和４年４月１日採用）

① 受付期間／７月１４日（水）から８月５日（木）まで（必着）

② 採用区分及び人数／

区分及び人数		受験資格
一般事務	３人程度	○ 高等学校卒業程度の学力を有する者（Ａ・Ｂ共通）
A 行政	２人程度	○ 平成３年４月２日～平成１６年４月１日に生まれた者
B 建築土木	１人程度	○ 昭和６１年４月２日～平成１６年４月１日に生まれた者 ○ 学校教育法による高等学校以上の学校において建築又は土木に関する課程を修めた者又は修める見込みの者、または、矢板市がこれらの方と同等の資格を有すると認める者

※ 矢板市の職員採用試験は、「人物重視」「面接重視」です。
一般事務Ｂ（建築土木）の第１次試験は、面接試験と適性検査のみで、教養試験は実施しません。

③ 第１次試験日／９月１９日（日）

④ 会場／矢板市生涯学習館（教養試験、適性検査）、矢板公民館（面接試験）

⑤ 周知方法／市ホームページ掲載のほか、総務課（市役所本館２階）、市民課（市役所本館１階）、各公民館（矢板、泉、片岡）にて採用試験案内を配備するとともに、関係機関への配布により行う。

記者発表資料

令和 3 年 6 月 18 日（金）提供

件 名	道の駅やいたへ一般社団法人日本道路建設業協会様からの小型発動発電機の寄贈式の開催について
(説明文)	
一般社団法人日本道路建設業協会様から小型発動発電機の意向調査があり、希望したところ、寄贈いただけることとなり、下記のとおり寄贈式を執り行います。	
記	
1 日時	令和 3 年 6 月 22 日（火） 11：00
2 場所	道の駅やいた
3 寄贈者	一般社団法人日本道路建設業協会 東京都中央区八丁堀 2-5-1
4 出席者	矢板市長 齋藤 淳一郎 一般社団法人日本道路建設業協会 支部長 杉崎 匡孝 様 事務局長 鈴木 暁 様 国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 事務所長 井上 啓 様
5 寄贈品	小型発動発電機
6 寄贈趣旨	全国道の駅連絡会特定賛助会員であります、一般社団法人日本道路建設業協会様は、社会貢献活動として毎年、道の駅に発動発電機の寄贈を行っておりました。昨年度から 3 年間で、全国の市町村において地域計画に位置付けられる、道の駅の発動発電機保有率 100%を目指して寄贈を行うこととしているそうです。 そこで今年度の意向調査で、道の駅やいたが寄贈いただけるということになりました。
7 寄贈品の用途	道の駅やいたへ配備し、災害時による停電に備える対策として、道の駅を利用されている方々への「安心」を提供するため、PC やスマートフォン等の充

電をはじめ、幅広く利用させていただきます。

8 参考

栃木県内の発電機寄贈実績

- ・令和元年度 「道の駅 那須高原友愛の森」「道の駅東山道伊王野」
- ・令和2年度 なし
- ・令和3年度 「道の駅やいた」「道の駅にしかた」「道の駅那須与一の郷」

担 当 課 ・ 担 当 名	農林課 整備振興担当		
担 当 者 名	和氣 千佳		
電 話 番 号	4 3 - 6 2 1 0	内線電話番号	4 0 9

記者発表資料

令和3年6月18日（金）発表・提供

件名	令和3年度そばオーナーの募集について		
そばの消費拡大と都市住民との交流を図る「そばオーナー」を募集します。			
1 日程	第1回「開講式、種まき」・・・令和3年7月31日（土） 第2回「枝豆収穫」・・・・・・収穫時期で決定 第3回「そば収穫」・・・・・・令和3年10月30日（土） 第4回「そば打ち講習会」・・・令和3年12月18日（土）		
2 時間	各日2時間程度		
3 実施場所	矢板市境林地内		
4 オーナー特典	そば粉2kg（打ち粉、つなぎ粉含む）、玄そば4kg、生そば4人前（引換券）のいずれかを選択できます。但し、発送の場合、送料は自己負担となります。		
5 定員	35人程度（先着順）		
6 年会費	1人5,000円（種代、管理費、昼食代などを含む）		
7 申し込み方法	下記申し込み先までご連絡いただき、送付された申込書に記入し、ご提出ください。		
8 申し込み先	矢板市農林課 TEL 0287-43-6210 FAX 0287-44-3324		
9 申込期間	令和3年6月21日（月）～7月16日（金）		
10 主催	蕎友蕎楽の会（きょうゆうきょうらくのかい）		
11 備考	詳細は別紙		
担当課・担当名		農林課 整備振興担当	
担当者名		高久 英治	
電話番号	43-6210	内線電話番号	408

第15回そばオーナー募集

そば打ち体験いかが

高原山の麓に抱かれた自然豊かな処、矢板市。
たかはらの清流で栽培した蕎麦を自らの手で
打つ、蕎麦のオーナー制度を実施致します。

栽培・蕎麦打ちの体験の他、収穫した蕎麦を
持ち帰れる特典付き。

熟練の職人による指導のもと、貴方も蕎麦打ち
職人になってみませんか？

募集期間

令和3年6月21日(月)

~7月16日(金)迄

詳しくは裏面を
御覧下さいませ

主催：蕎友蕎楽の会

【問合せ先】矢板市役所農林課

TEL 0287-43-6210

FAX 0287-44-3324



↑市のHPで検索！

令和3年度そばオーナー制度 実施要領

約20アールの畑で行われる、オーナーさんの手作業によるそばの栽培体験！最後のそば打ち講習会では講師によるそば打ちの指導が実施されます。みなさんもチャレンジしてみませんか？

◇応募資格 農業体験に興味のある方！

◇実施内容 下記日程で行われる全4回の農作業体験。地元の農家が丁寧に指導します。

◇日 程	第1回「開講式・そばの種まき」	令和3年7月31日（土）
	第2回「枝豆収穫祭」	枝豆の収穫時期で決定
	第3回「そば収穫」	令和3年10月30日（土）
	第4回「そば打ち講習会」	令和3年12月18日（土）

注）なお、第1回目につきましては、コロナ対策（飲食提供中止）により、午後1時からの作業となり、食事の提供はございません。また、今後のコロナウイルス感染拡大状況により、作業中止となる場合がございますので、ご容赦願います。

◆集合場所：里の駅（里山いちご園） ※別途ご案内します。

◆作業時間：2時間程度

※各日とも雨天決行。台風等の荒天の場合は中止とし、後日地元農家が作業を代行します。

◇募集人数 35名（先着順とさせていただきます。）

◇年会費 1名 5,000円（種代、管理費、昼食代等含む）

◇オーナー特典 そば粉2kg（打ち粉、つなぎのセット）、玄そば4kg、生そば4人前のいずれかを選択できます。但し、発送の場合、送料は自己負担となります。

◇募集期間 令和3年6月21日（月）～ 7月16日（金）
※募集人数の上限35名に達し次第、締め切りとさせていただきます。

◇申込方法 下記連絡先までお電話ください。申込書を送付いたしますので、必要事項をご記入の上、事務局まで郵送またはFAXにてご返送ください。
年会費のお振込みに関しましては、お申し込み完了後にご案内いたします。

〒329-2192 栃木県矢板市本町5-4 矢板市農林課
TEL 0287-43-6210 FAX 0287-44-3324

◇持ち物 飲み物、雨具（カッパ）、帽子、マスク、タオル、軍手、長靴、汚れてもよい服装

◇主催 おたけおたけ
蕎友蕎楽の会

記者発表資料

令和3年6月18日（金）発表・提供

件 名	第 2 3 回ともなり文芸祭り誌上大会の作品募集について		
(説明文)			
矢板市の初代川崎城主、塩谷朝業しおのやともなりは文武両道に優れた御家人で、鎌倉幕府三代將軍源実朝の側近として仕えました。特に和歌に優れた才能を持つ朝業は、和歌をとおして実朝に特別に気に入られました。矢板市では朝業にちなみ、ともなり文芸祭りを開催しています。 短歌（一般の部）では、宮中歌会始や毎日歌壇などの選者を務める篠弘先生に選者をお願いしています。 なお、多くの方々に参加いただけるよう、市内の 4 か所に応募箱を設置いたします。 多数の応募お待ちしております。			
1 募集期間	令和 3 年 7 月 1 日（木）～ 9 月 1 7 日（金）（必着）		
2 種 目	短歌・俳句・川柳・詩（漢詩を除く）		
3 部 門	「小学生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」		
4 主 催	ともなり文芸祭り実行委員会・矢板市・矢板市教育委員会		
5 後 援	栃木県・栃木県教育委員会・矢板市文化協会・矢板市文化財愛護協会・下野新聞社・エフエム栃木		
6 開催趣旨	裏面のとおり		
7 内 容	裏面のとおり		
8 参加対象	裏面のとおり		
9 投 稿 料	短歌(一般の部)のみ、1 組 2 首で 1,0 0 0 円 (現金書留か定額小為替を利用)		
1 0 応募箱設置個所（4 か所）			
生涯学習館、図書館、道の駅、城の湯温泉センター			
担当課・グループ		矢板市教育委員会生涯学習課文化担当	
担 当 者 名		平山明美	
電 話 番 号	0287-43-6218	内線電話番号	471

第23回ともなり文芸祭り開催要項

- 1 主 催 ともなり文芸祭り実行委員会・矢板市・矢板市教育委員会
- 2 後 援 栃木県・栃木県教育委員会・矢板市文化協会・矢板市文化財愛護協会・
下野新聞社・エフエム栃木
- 3 開催趣旨 矢板市の初代川崎城主、塩谷朝業は、文武両道に優れた御家人で、鎌倉幕府三代将軍源実朝の側近として仕えました。特に和歌に優れた才能を持つ朝業は、和歌をとおり実朝に特別に気に入られました。矢板市では優れた歌人朝業にちなみ、ともなり文芸祭りを実施します。
- 4 募集期間 令和 3年 7月 1日（木）～令和 3年 9月17日（金）

5 募集内容

種 目	部門	1人当たりの 投稿数	投稿料 (参加料)	応募資格	応募方法
短 歌	小学生 中学生・高校生	2 首以内	無料	県内に在住・通勤・ 通学する方	応募用紙 (はがき)
	一般	何首でも可	1組 2首まで 1,000円※1	全国から募集	応募用紙 ※2 (はがき又は 専用用紙)
俳 句	小学生 中学生・高校生 一般	2 句以内	無料	県内に在住・通勤・ 通学する方	応募用紙 (はがき)
川 柳	小学生 中学生・高校生 一般	2 句以内	無料	県内に在住・通勤・ 通学する方	応募用紙 (はがき)
詩 (漢詩を 除く)	小学生 中学生・高校生 一般	1 編以内	無料	県内に在住・通勤・ 通学する方	400字詰原稿用紙 2枚以内 (はがき可)

※1 現金書留か定額小為替を利用。投稿料の領収書は発行しない。

※2 短歌一般の部のみ、ホームページから応募用紙をダウンロード可能とする。

(1) 応募箱の設置

今年度は市内4か所に応募箱を設置する。

俳句、川柳、詩、短歌（小学生、中学生・高校生のみ）は応募箱で応募できる。

設置場所：生涯学習館、図書館、道の駅やいた、城の湯温泉センターの4か所

※短歌一般の部については、郵送のみの応募とする。

- (2) 作品は、自作・未発表のものとし、二重投稿不可とする。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 入賞作品に関わる著作権は、矢板市教育委員会に帰属する。
- (5) 応募・お問い合わせ先

〒329-2165 栃木県矢板市矢板 1 0 6 番地 2

矢板市教育委員会事務局生涯学習課「ともなり文芸祭り」係

電話 0287-43-6218 FAX 0287-43-4436

ホームページ <http://www.city.yaita.tochigi.jp>

- (6) 入賞者発表 令和4年2月1日に市広報、ホームページで発表するほか、
入賞者あてに通知する。

6. 入 賞

- ◆ともなり文芸大賞 (各種目各部門 1 作品以内)
 - ◆ともなり文芸準大賞 (各種目各部門 1 作品以内)
 - ◆ともなり文芸奨励賞 (各種目各部門 3 作品以内) 作品数に対し 5 %以内
 - ◆入選 (各種目各部門 1 0 作品以内) 作品数に対し 1 0 %以内
- ※小学生の部、中学生・高校生の部は、入選をそれぞれ 2 0 作品以内とする。
- ※短歌一般の部は、入選を 3 0 作品以内とする。

7. 審 査 ともなり文芸祭り実行委員会が行う。

短歌(一般の部)／篠 弘

短歌(一般の部以外)／東泉 智恵子、渡邊 玲子

俳句／齋藤 稔、小野崎 典子、薄井 幸子

川柳／松平 祐宣、武田 正雄、岡本 芳子

詩 /村上 周司、橋本 昭司

8. そ の 他

- (1) 個人情報の取り扱い

応募用紙に記入された個人情報は、ともなり文芸祭りの運営以外には使用しない。
また、次のともなり文芸祭りの案内に使用する。

- (2) 入賞作品集の作成

入賞作品を掲載した作品集を作成し、短歌一般の部応募者及び入賞者並びに応募のあった学校等に配付する。また、それ以外の方は1部500円（送料着払い）で頒布する。